

## 海外留学の成果報告

名城大学  
経済学部4年

林 克弥

留学先 **タイ(チョンブリ)**

留学期間 平成30年1月30日  
～平成30年2月28日



測定実習の様子

### 支援企業

株式会社日本エー・エム・シー

### 担当者

取締役総務部長 高橋 永

### 担当者から一言

これからの社会人になってからの経験に加え今回の海外留学の経験を活かしてグローバルに活躍できる人材に成長して欲しいです。期待しています！



タイ工場の方との交流会

## ①留学をしようと思った動機

大学3年も終わりに近づいた頃、就職活動が差し迫ってきたため、改めて自分は今後どうなっていきたいかを考えた結果、なんだか「カッコいいから」という漠然とした理由で、海外で活躍するグローバル人材になりたい、海外で働きたいという考えに至りました。そして、就職する前にタイに留学をしようと思いました。タイには多くの日本企業が進出しており、その進出成功率は約80%とも言われていますが、実態を知りたいと思ったからです。そこで、トビタテ！留学 JAPAN 地域人材コースを活用して、地元福井のものづくり企業である日本エー・エム・シーのタイ工場において実習をさせてもらい、グローバル人材になるために必要なことは何かを探しに行くことにしました。

## ②留学の内容および成果

タイでは日本エー・エム・シーの工場での実習や、日系企業への訪問・工場見学を行いました。

工場での実習では、目視検査や測定検査（受け入れ検査・巡回検査など）、機械加工実習（バリ取り・キャップ付けなど）、溶接、CADを駆使した製図実習などと幅広くさせてもらいました。どれも初めての経験で戸惑うこともありましたが、工場のタイ人の方とコミュニケーションをとることで何とか乗り越えることができました。実習を通してタイ語も少しは話せるようになり、挨拶、数字は言えるようになりました。

日系企業への訪問・工場見学では、BKC（バンコク・コマツ・カンパニー）など7社行かせてもらいました。実際に商談の現場や工場を見ることで、タイの製造現場を知ることができた他、海外駐在員の方からグローバル人材に必要なスキルなどを聞く機会を持つことができました。実際に海外で働いてみたことで、そのスキルの必要性を身をもって知ることができたと思います。

今回の留学を経て、日系企業のタイにおけるものづくり現場やタイの文化・雰囲気を知ることができ、将来グローバル人材になるという目標が明確になりました。そして、グローバル人材として活躍していくために、「体が資本」ということを強く感じました。食べ物や気温・天候・衛生面などといった日本と違う環境に順応することが大事だと思いました。

留学前は「カッコいいから」という漠然とした理由で海外勤務をしたいと考えていましたが、留学後は成長を続けるアジア市場に身を置き携わることによって、自分自身を成長させるために海外勤務をしたいと思うようになりました。



会社の方の結婚式に参加